



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月14日

上場会社名 株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3151 URL <http://www.vitalksk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 泰介
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 高橋 喜春 (TEL) 022-218-6155
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2020年3月期第3四半期	432,774	1.7	3,090	29.5	5,404	△2.7	4,633	6.9
2019年3月期第3四半期	425,595	△1.8	2,387	42.8	5,552	25.1	4,333	33.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 7,061百万円(554.9%) 2019年3月期第3四半期 1,078百万円(△81.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	82.81	71.16
2019年3月期第3四半期	76.90	66.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2020年3月期第3四半期	337,463	101,056	29.7
2019年3月期	329,747	96,788	29.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 100,230百万円 2019年3月期 96,035百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
2020年3月期	—	11.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	13.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	557,200	△0.4	2,860	1.4	5,860	△15.2	5,140	1.1	91.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	61,224,796株	2019年3月期	61,224,796株
2020年3月期3Q	6,267,492株	2019年3月期	4,868,364株
2020年3月期3Q	55,950,790株	2019年3月期3Q	56,355,699株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策等により、企業収益や雇用環境が改善するなど緩やかな回復基調が続いておりますが、世界的な貿易摩擦の問題など、先行き不透明な状況にあります。

当社グループの主たる事業である医薬品卸売業界におきましては、国の医療費抑制策により2018年4月の薬価改定で平均7.48%の薬価基準の引下げが行われました。また、2019年10月の薬価改定では平均2.40%の薬価基準の引下げ（消費税対応分1.95%の引上げ含む）が行われました。今後も薬剤費の抑制政策は継続されることが予想されます。

このような中、当社グループは2020年3月期から2022年3月期までの3年間にわたる第4次中期経営計画をスタートさせました。第4次中期経営計画では、2025年に目指す姿としての長期ビジョン「医療・介護を支える商品やサービスを戦略的に提供することにより、地域・コミュニティのヘルスケアになくてはならない存在となる」に引き続き取り組んでまいります。そして、当該長期ビジョンの下、第4次中期経営計画の中期ビジョンを「選ばれる企業集団になる」とし、実践課題として「1. 低成長下においても利益を創出し続ける医療用医薬品卸売事業体制の確立」「2. エマージングビジネス（※1）の成長・拡大による収益増」「3. グループ経営体制の強化」を掲げました。さらに、当該中期ビジョンを実現するため、4つの基本方針「効率的・効率的グループ経営によるグループ総合力の発揮」「提供機能の拡充・整備と成長領域へのフォーカス」「地域のヘルスケアのコーディネートとサポートやソリューションの提供」「強み・リソースを活用した新たな収益策や事業の展開」に取り組んでまいります。

当連結累計期間の業績につきましては、売上高432,774百万円（前年同期比101.7%）、営業利益3,090百万円（前年同期比129.5%）、経常利益は、前年まで計上していた負ののれんの償却終了等により5,404百万円（前年同期比97.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券の売却益等により4,633百万円（前年同期比106.9%）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 医薬品卸売事業

医薬品卸売事業におきましては、予てよりカテゴリーチェンジによる長期取載品の販売減少が続いておりましたが、2018年4月の診療報酬改定におきましても、更なるジェネリック医薬品使用促進策が打ち出され、当連結累計期間におきましても長期取載品の販売減少が続いております。そのような状況の中、当社は新薬創出・適応外薬解消等促進加算制度の対象品や新製品に注力してまいりました。また、医療用医薬品卸売事業以外では、2019年5月に(株)バイタルネットは最先端のロボット技術を活用した歩行トレーニングを提供する「仙台ロボケアセンター（※2）」をオープンしました。地域・コミュニティのヘルスケアになくてはならない存在となるため、エマージングビジネスにも注力しております。結果、売上高は、411,212百万円（前年同期比101.6%）、セグメント利益（営業利益）は、2,823百万円（前年同期比118.8%）となりました。

※1 エマージングビジネス：医療用医薬品卸売事業以外の事業

※2 仙台ロボケアセンター：医療用ロボットを手掛けるCYBERDYNE株式会社と連携し、身体機能を改善・補助・拡張・再生することができる世界初の装着型サイボーグ「HAL®」を使用した科学的フィットネストレーニング施設

仙台ロボケアセンターWebサイトURL:<http://www.robocare.jp/sendai/>

② その他事業

その他事業におきましては、調剤薬局事業及び動物薬卸売事業の業績が回復したため、売上高は、21,561百万円（前年同期比102.9%）、セグメント利益（営業利益）は、230百万円（前年同期は31百万円のセグメント損失）となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,248	36,938
受取手形及び売掛金	122,148	131,713
たな卸資産	30,746	33,088
未収入金	15,267	15,922
その他	739	632
貸倒引当金	△66	△75
流動資産合計	212,083	218,220
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,422	19,359
土地	20,521	20,314
その他（純額）	4,909	4,331
有形固定資産合計	44,852	44,004
無形固定資産		
のれん	3,602	3,452
その他	2,188	1,613
無形固定資産合計	5,791	5,066
投資その他の資産		
投資有価証券	52,676	55,686
その他	15,042	15,175
貸倒引当金	△699	△690
投資その他の資産合計	67,019	70,171
固定資産合計	117,663	119,242
資産合計	329,747	337,463

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	189,554	195,010
短期借入金	1,370	1,300
未払法人税等	1,473	1,270
賞与引当金	1,582	691
その他の引当金	198	199
その他	4,714	4,048
流動負債合計	198,893	202,519
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	10,012	10,006
長期借入金	4,800	4,400
その他の引当金	220	218
退職給付に係る負債	6,800	6,453
その他	12,232	12,809
固定負債合計	34,065	33,887
負債合計	232,959	236,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	12,739	12,739
利益剰余金	57,019	60,360
自己株式	△3,759	△5,256
株主資本合計	71,000	72,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,134	25,760
退職給付に係る調整累計額	1,900	1,626
その他の包括利益累計額合計	25,035	27,387
非支配株主持分	752	826
純資産合計	96,788	101,056
負債純資産合計	329,747	337,463

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	425,595	432,774
売上原価	392,082	398,776
売上総利益	33,512	33,997
返品調整引当金戻入額	204	198
返品調整引当金繰入額	229	199
差引売上総利益	33,487	33,995
販売費及び一般管理費	31,100	30,905
営業利益	2,387	3,090
営業外収益		
受取利息	112	113
受取配当金	664	682
持分法による投資利益	121	89
受取事務手数料	1,128	1,139
負ののれん償却額	552	—
その他	712	434
営業外収益合計	3,291	2,458
営業外費用		
支払利息	55	50
賃貸費用	59	67
その他	11	27
営業外費用合計	126	145
経常利益	5,552	5,404
特別利益		
固定資産売却益	103	83
投資有価証券売却益	821	1,479
その他	48	35
特別利益合計	973	1,598
特別損失		
固定資産売却損	0	6
固定資産除却損	51	33
減損損失	18	16
関係会社株式評価損	—	68
災害による損失	22	—
その他	1	24
特別損失合計	94	149
税金等調整前四半期純利益	6,431	6,853
法人税等	2,031	2,144
四半期純利益	4,400	4,708
非支配株主に帰属する四半期純利益	66	75
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,333	4,633

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	4,400	4,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,660	2,355
退職給付に係る調整額	△342	△273
持分法適用会社に対する持分相当額	△318	270
その他の包括利益合計	△3,322	2,352
四半期包括利益	1,078	7,061
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,011	6,985
非支配株主に係る四半期包括利益	66	75

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	医薬品卸売 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	404,638	404,638	20,956	425,595	—	425,595
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,406	4,406	1,694	6,100	△6,100	—
計	409,045	409,045	22,650	431,696	△6,100	425,595
セグメント利益又は損失(△)	2,377	2,377	△31	2,345	41	2,387

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局事業、医薬品等の小売業、動物用医薬品の卸売業、農薬等の卸売業、運送業、介護サービス業、医療機関に対するコンサルティング業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額41百万円はセグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	医薬品卸売 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	411,212	411,212	21,561	432,774	—	432,774
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,874	4,874	1,788	6,662	△6,662	—
計	416,086	416,086	23,349	439,436	△6,662	432,774
セグメント利益	2,823	2,823	230	3,054	36	3,090

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局事業、医薬品等の小売業、動物用医薬品の卸売業、農薬等の卸売業、運送業、介護サービス業、医療機関に対するコンサルティング業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額36百万円はセグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。